

## 2月23日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●鈴木宗男氏「一方的な情報に流され 善悪決めつけていいのか」一方的なロシア＝悪に不満を吐露(2023年2月22日)

日本維新の会の鈴木宗男参院議員が20日に更新した公式ブログで、ロシアのウクライナ侵攻に対して「一方的な情報に流され、どこまで正確で信ぴょう性があるのかわからない中で、『善』『悪』と決めつけて良いのか」と問いかけた。

宗男氏は、「G7外相会合で相も変わらずロシア非難をしているが、『停戦、話し合いをすべき』という提言は出てこない。非難や批判を繰り返しても紛争は長引くだけである。G7、G20の主要国が結束して仲介の労をとり、仲立ちを進言するのが役割だと思うのだが」とG7が停戦に乗り出さないことへの不満をぶちあげた。

その上で「ウクライナ問題がどうして起きたのか、その元を考えず、また、議論もなく、一方的な情報に流され、どこまで正確で信ぴょう性があるのかわからない中で『善』『悪』と決めつけて良いのか、ここは冷静に考えるべきではないか」とロシアを悪とする風潮を問うた。

さらに「それぞれ世界でたった一つの命である。これ以上、犠牲者を出させないためにも一にも二にも停戦しかない」と改めて言及。「岸田総理が強いリーダーシップを発揮し、G7の議長国としての存在感を示してほしい。そしてG20の主要国にも呼び掛けるべきではないか。制裁、非難、批判をしても紛争は終わらない。ここは先を見据えた賢い外交術を願ってやまない」と岸田文雄首相がG7を主導し、停戦に導くことを希望した。



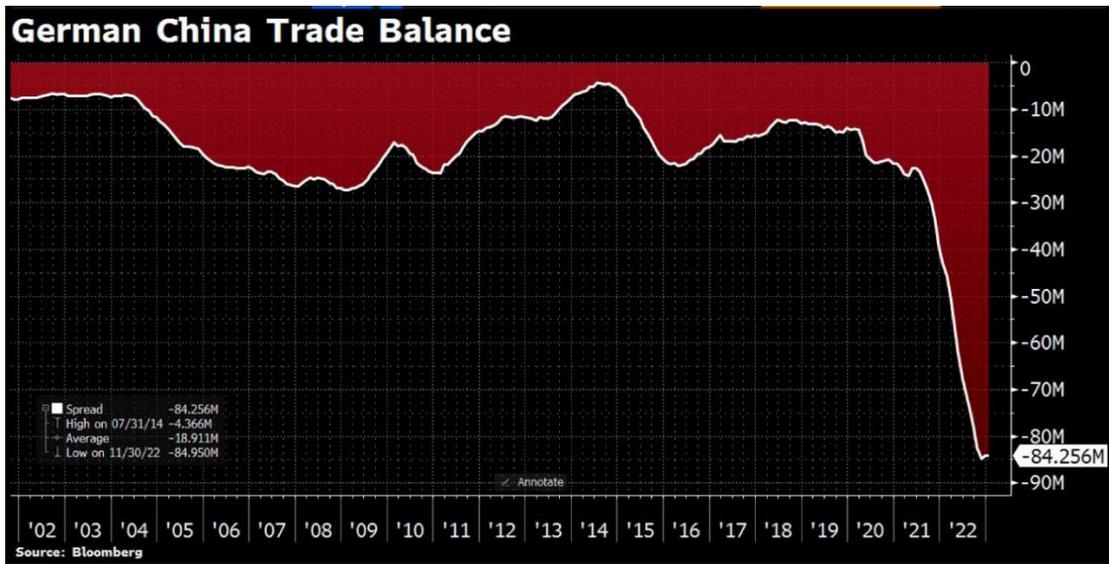
### ●昨年のドイツの対中貿易赤字が過去最高(2023年2月18日)

ドイツの脱工業化には歯止めがかからない。昨年の対中貿易赤字は過去最高となった。

ロシアの安い石油、ガス、石炭がなければ、ドイツ経済に未来はない。

単純な真実だ。プーチンのプロパガンダだ！」と叫んではいけない。ノルドストリームを破壊され米国からロシア産の4倍の価格でガスを買わされる敗戦国の姿。

ペトロダラーの枠組みが崩れドル基軸通貨体制はもはや泥船。米国は自国が生き残るために同盟国がどうなろうが知ったことじゃないんだ。



●ノルドストリーム爆破の米国関与について(タッカー・カーソン、2023年2月22日)

※投稿者コメント:ノルド爆破は西欧にも大きな経済的打撃を与える。ノルド爆破は米国の仕業でしょう。ドイツは安いロシア産ガスを今後一切望めなくなった。僕は敗戦国はかくも惨めなものかと思つた。日本よ気を付けろ。

<https://twitter.com/i/status/1624585401909538818>



●ジャーナリストがノルドストリーム問題で民主党議員に質問(2023年2月22日)

「米国がやったなら責任を取らせることになる」

「ウクライナ人への資金提供を止めろ」

ジャーナリスト ホセ・ベガ氏、リッチー・トーレス議員(民主党)にノルドストリーム 2 爆破の質問をぶつける。

<https://twitter.com/i/status/1627243607127396353>



## ●ノルドストリーム弱体化に関する国連安全保障理事会におけるロシアのウラジーミル・ネベンジア常駐代表の声明(2023年2月22日)

※安齋注:ちよつとこなれない日本語表現がありますが、大意をご理解下さい。

私たちは今日、非常に注目に値する会合のために会合を持っています。昨年9月30日に開催されたノルドストリームに対する破壊工作に関する前回の会議とはトーンが大きく異なります。多くの人が覚えているように、それでも、この国際テロ行為の背後に誰がいる可能性があるかは原則として明らかでした。米国の指導部はいくつかの声明を発表しましたが、その意味は、ロシアが米国が望まない方法で行動し続ける場合、ノルドストリームが破壊されるということでした。場違いな発言をしたポーランドの元外務大臣シコルスキー氏は、ソーシャル ネットワークでロシア嫌いの極端な熱狂の中で米国に感謝し、加えて英国政府の元首だったレオニード トラス氏から不注意なテキスト メッセージが送信されました。私たちの国を憎んでいます。しかし、正式には、米国はその関与を強く否定し、国際的な重要なパイプラインインフラに対するそのような妨害行為の結果を理解しています。ちなみに、彼らが今そうしているように。

それ以来、ノルドストリームの爆撃をめぐるワシントンの当局者によるシャーデンフロイデの例が増えてきたが、これは特に有名なロシア嫌いで、ウクライナの反憲法クーデターの「ゴッドマザー」であるヌーランド女史のおかげだ。しかし、それだけで会議を招集することは絶対にありません。事実上、有名なアメリカの調査ジャーナリストであるピューリッツァー賞受賞者のシーモア・ハーシュのおかげで、2月8日に、アメリカがそれをしただけでなく、NATO の同盟国であるノルウェーと共謀してそれをした方法を知ったということです。事実と目撃者の証言に基づいて、彼は、2022年夏の NATO 演習 Baltops 中にアメリカのダイバーがノルドストリームの下に爆発物を設置し、3か月後の9月26日にノルウェー人によって作動したことを説得力を持って証明しました。つまり、今では、誰が、どのようにガスパイプラインが爆破されたかを高い確率で知っています。実際、これらの事実は、起こったことは国連の目標と両立しない方法で実行された武力の行使であると言えます。

シーモア・ハーシュのセンセーショナルな調査のその他の詳細については、講演者の2人であるジェフリー・サックスとレイ・マクガバンが詳細に語っているので、ここでは触れません。彼の持つ情報の深さはすごいとしか言いようがない。そして、彼のこれまでのプロとしての経験と非の打ちどころのないジャーナリストとしての評判により、このアメリカ人ジャーナリストが真実を語っていることを疑う余地はありません。

ちなみに、印象的なのはこれだけでなく、この前例のない犯罪がなされたときの皮肉の程度と自分自身の不処罰への自信でもあります。もちろん、私たちのアメリカの同僚が自分たちを法律よりも優先し、実際には自分たちが法律であると主張しているという事実に、私たちはすでに慣れていました。彼らは、他の州の内政不処罰に干渉し、違憲クーデターを実行し、独立国家に対して攻撃を実行することができます(2022年に米国議会によって作成された文書によると、冷戦が終わってからのみであることを思い出してください。調査局、海外での米軍の使用の251件が記録されている)、国際司法に有罪を引き渡すことを拒否しながら、他の国で民間人を殺し、拷問する。これは、味方が一緒に歌うことで、ルールが自分で決定される「ルールベースの秩序」と呼ばれます。

しかし、彼らは、米国が戦争をしていない国が所有する外国のパイプラインを爆破するまでには至っていません。そして今、その日が来ました。そしてそれは、国家の弱体化を目的とした作戦の正当な標的として、国境を越えた大陸を越えた通信が行われる時代の前触れかもしれません。あなたが理解し

ているように、エポックは、人類全体への混沌と想像を絶する損害です。ノルドストリームを弱体化させた責任者が発見されず、それに応じて処罰されない場合、それが起こる可能性は非常に高くなります。そして、その背後にいた国々は、被った損害について影響を受けた国に補償しません。国際法、そして実際に正義の基本原則によって規定されているとおりです。そのときだけ、あなたと私はこの混乱を避けるチャンスがあります。すべては私たちの手に委ねられており、これは今日の安保理会議で解決されます。

私たちの以前の西側のパートナーが今言っていることとは反対に、私たちは安保理で偽情報の流布に参与しておらず、「可能性が高い」という精神で申し立てに基づいて起訴を作成しようとはしていません。例えば、このホールにいる英国の代表者たちは、事実と常識に反する特定の捏造と結論に基づいて、5年前にスクリパリ氏を毒殺したと説得力なく私たちを非難しようとしました。ノルドストリーム爆破事件の場合、犯罪の動機も、その加害者も、犯罪が行われた方法も疑わしいものではありません。これは、すべてのアメリカの探偵がハリウッドの大ヒット作で見つけることを夢見ている「喫煙銃」以上のものです。そのような証拠があれば、米国の同僚たちの弁護を引き受ける弁護士はいなかったでしょうし、陪審員の評決に疑いの余地はなかったでしょう。

しかし、私たちは安全保障理事会での裁判を手配するためにここにいるわけではありません。ご存じのように、私たちは国連安全保障理事会の決議草案を提出し、事務総長に独立した国際調査を実施し、ジョージ・ハーシュや他の独立したジャーナリストが引用した事実を検証するよう指示しました。

現在多くの国の法域で実施されている調査の有効性、透明性、公平性に深刻な疑問があるため、私たちはそうせざるを得ません。パートナー側に協力を求める気持ちは見られません。本日、ドイツ、デンマーク、スウェーデンの常任代表から配布された書簡に注目し、これらの国の当局がロシアに調査の進捗状況を通知したと述べています。実際には、状況は異なります。上記の州の指導部は、2022年10月にロシア連邦のミハイル・ミシュスチン首相が、ロシアの権限のある連邦行政機関とガスプロム PJSC の代表者の調査への参加に関して彼らに送ったメッセージを無視しました。ロシア連邦検事総長室の要求は、関連部門に拒否されました。これは爆発装置を用いた犯罪であり、したがって1997年12月15日のテロ爆破防止国際条約に該当するため、事件に参与した国、主に米国、ノルウェー、デンマーク、スウェーデンが、この文書に基づく義務を履行しなければなりません。しかし、ここでも彼らのリーダーシップの政治的意思は観察されていません。より正確には、それは単に存在しません。

残念ながら、真実を知る方法は他にありません。そう言えば、スカンジナビア諸国とドイツによって行われた調査は透明性がないだけでなく、すでに明らかのように、「彼らの足跡を覆い隠し」、アメリカの兄弟分を保護することのみを目的としています。私たちは彼らを訪問することを許可されておらず、私たちの要求はすべて傲慢に無視されています。ところで、これらの調査に参加しているこれらの国がこの会合を要請しなかったことは、私たちにとって奇妙なことです。その他の集会については、参加希望者の途切れは見られません。もちろん、私たちは彼らを信頼していませんし、信頼することもできません。しかし、私たちは依然として国連事務総長を信頼しており、あなたもそうであることを願っています。そこで、彼に調査を委託することを提案します。

我々は、ロシア連邦議会下院からの控訴と対応する要求、およびドイツ、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンの外務省に宛てたロシア大使館からのメモを、総会と安全保障理事会に回覧した。このトピックに関する米国。誰もがこれらの文書に精通することができます。

米国の同僚が恐れるものが何もなく、同胞の結論の誤謬を疑っていない場合、米国は何も危険にさ

らすことはなく、私たち全員がこれを十分に迅速に検証できるでしょう。そして、その行動によって国際の平和と安全を侵害した他のアクターを見つけ出し、処罰するよう努めます。この場合、私たちは私たちの提案への支持を期待しています - ちょうど最近、私たちの専門家が私たちによって提案されたテキストについて話し合っています。確かに、最初のラウンド以降、西側の専門家はいずれにせよ、客観的な国際調査に関心がないという印象を受けました。

したがって、同僚の皆さん、私たちが提案した決議草案に関する作業に対するあなたの態度、加害者を見つけて裁判にかけることへのあなたの関心(または無関心)は、発生した妨害行為の文脈における私たちのさらなるステップにとって決定的です。あなたが私たちやあなた自身の市民を失望させず、私たちの世界組織の憲章に規定されている真実を確立するのに役立つと信じたい。

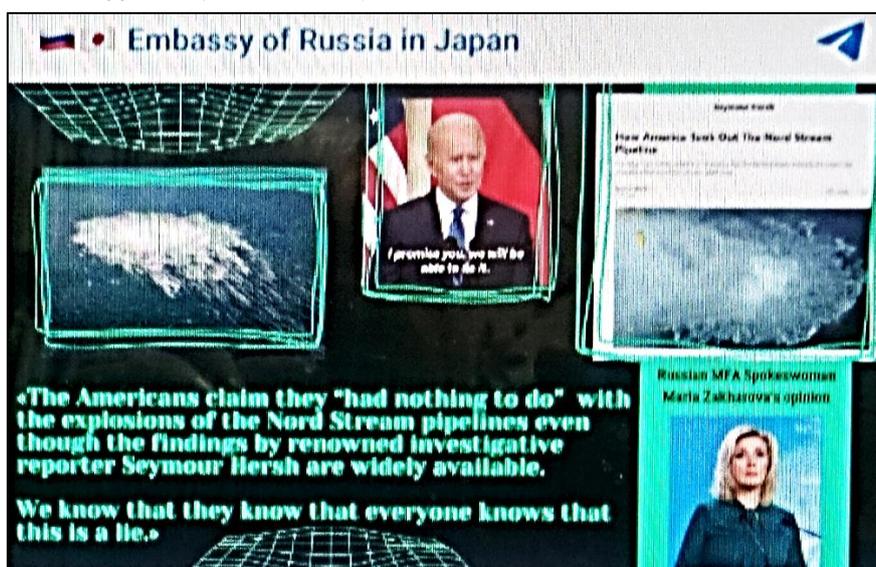
ありがとう。



### ●ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官の意見(2023年2月22日)

著名なジャーナリストであるシーモア・ハーシュの調査データは誰もが入手できるにもかかわらず、アメリカは今、「ノルドストリーム爆破事件」とは「何の関係もない」と主張しているのである。

これが嘘であることを、誰もが知っている。



## ●プーチン演説骨子(2023年2月22日)

- ・亡くなった軍人の家族のための国家基金を創設する
- ・兵士が家族との時間をもてるよう、6ヶ月ごとに14連休を設ける
- ・西側の経済制裁は失敗
- ・農作物は記録的な収穫だった
- ・他国との経済関係を拡大する、物流網を構築する
- ・市民のためのガス無料化プログラム



## ●ドイツ連邦議会議員セヴィム・ダーデレン氏の発言詳細(再送、2023年2月17日)

- ・ノルドストリーム2 爆破の調査をドイツ政府が積極的にしないことについて政権へ追求
- ・米国との束縛関係がない独立した外交政策を放棄したことが安全保障に大きな問題
- ・ドイツと欧州に対するテロ攻撃に強力な対応を取れ

<https://twitter.com/i/status/1626242032888061953> 日本語字幕あり



## ●ロシアのイタズラ電話ハッカーボバンとレクサス:イタズラの被害者はマーク・エスパー(日本語字幕付きで再送、2023年2月16日)

軍需企業レイセオンの幹部でもある元国防長官、共和党。

”勇敢なウクライナ人がアメリカがやりたくない汚い仕事をしてきている”

”ロシア本土を攻撃するべき”...



## ●ノルドストリーム爆破事故の調査についてデンマーク、ドイツ、スウェーデンが国連に書簡(2023年2月22日)

[国連/コペンハーゲン 21日 ロイター] - デンマーク、ドイツ、スウェーデン3カ国は21日、国連安全保障理事会に共同書簡を送り、ロシアから欧州に天然ガスを送る海底パイプライン「ノルドストリーム」で昨年9月に起きた爆発に関する調査はまだ終了していないと報告した。

書簡は、パイプラインの被害は現時点で「破壊工作による強力な爆発」が原因と立証しているとした上で、「これら調査はまだ終了しておらず、いつ結論が出るかは不明」とした。

国連安保理はこの日、ロシアが爆発に関する独立調査を要請したことを受けて協議を行った。ただ、独立調査を巡る採決の日程はまだ決まっていない。

ロシアのポリアンスキー国連次席大使は週内に採決を目指す考え。今週24日はロシアがウクライナ侵攻を開始してから1年目を迎えるため、国連総会や安保理の会合が予定されており、採決と重なる可能性もある。



## ●国連当局者は、ノルド ストリーム の調査を自制するよう求めた(2023 年 2 月 22 日)

国連安全保障理事会は火曜日、ロシアからの要請を受けて会合し、ロシアからドイツへのガスの流れをつなぐノルドストリーム・パイプラインに対する昨年 の妨害攻撃について、国連が独立した調査を開始すべきかどうかを検討した。

ロシアは、国連事務総長のアントニオ・グテーレスが、9 月にノルドストリーム・パイプライン 1 と 2 への攻撃の「加害者、スポンサー、主催者、共犯者」を発見するための調査委員会を設立することを要求する決議草案を安保理に配布した。

理事会は火曜日に決議案に投票しませんでした。9 月のパイプライン攻撃が意図的な妨害行為であったことについて、15 人の評議会の間でほとんど議論がなかった。しかし、誰が非難されるべきかについての分裂と疑問が残った。

国連の政治・平和構築問題担当トップのローズマリー・ディカルロ氏は、「この問題に関するセンシティブさと憶測を考えると、関係者全員に自制を示し、いかなる憶測も避けるよう求める」と述べた。彼女は、根拠のない告発がこの地域の緊張を高める可能性がある と警告した。

ロシアは米国を非難してきたが、バイデン政権は繰り返しきっぱりと否定してきた。

火曜日の理事会への共同書簡で、ドイツ、スウェーデン、デンマークは、各国で個別の調査が開始されたが、まだ結論が出ていないと述べた。書簡によると、各国当局はガス漏れと調査について対話を続けており、ロシア当局にも通知されているという。

「調査の結果、ノルドストリーム 1 と 2 に広範囲の損傷があり、その損傷は破壊工作による強力な爆発によって引き起こされたことが判明しました」と書簡は述べています。

<p><b>Rosemary Anne DiCarlo</b> (born 1947) is an <a href="#">American</a> diplomat who has served as United Nations Under-Secretary-General for Political and Peacebuilding Affairs since May 2018. She previously served as acting <a href="#">United States Ambassador to the United Nations</a><sup>[1]</sup> following the resignation of <a href="#">Susan Rice</a> to become the <a href="#">National Security Advisor</a>.</p> <h3>Early life and education</h3> <p><a href="#">[ edit ]</a></p> <p>DiCarlo graduated from <a href="#">Brown University</a> with a B.A., M.A. and Ph.D. in</p>	<p><b>Rosemary DiCarlo</b></p>  <p>United Nations Under-Secretary-General for Political and Peacebuilding Affairs</p> <p><i>Incumbent</i></p>
--	---

## ●中ロ外相が会談(2023 年 2 月 22 日)

ラブロフ外相は、王毅国務委員と会談。その数時間後、国連安保理でロシアと中国が、シーモア・ハーシュが明らかにしたノルドストリームへのバイデンのテロ攻撃に関する国連の調査を支持した。



## ●ノルドストリーム破壊についてのジェフリー・サックス教授の見解(2023年2月22日)

ノルドストリームへのテロ攻撃の件について、アメリカの経済学者ジェフリー・サックス教授  
このレベルのガスパイプラインの破壊は、専門知識と最高レベルの計画が必要です。

ノルドストリームの破壊は国際テロ行為であり、平和への脅威です。このテロ攻撃の調査は世界的な優先事項です。

<https://twitter.com/i/status/1628213000900583425>



## ●ウクライナ難民も嘆く米国の荒れた学校(2023年2月22日)

サンフランシスコに到着したウクライナ難民の家族が、地元の学校について苦言を呈した。

ヤナという13歳のウクライナ人は、米国の映画を見て米国の学校はのどかな環境と思っていた。しかし結果は真逆だった。生徒が授業を妨害し、教師と喧嘩したりすることがよくあるという。

また、そのような行為に対して生徒を罰する者は誰もいなかった。

「1週間もするとこれが普通だと気づいた」。

しばらくすると若い米国人がヤナをいじめるようになった。1カ月も経たないうちにヤナの携帯電話は盗まれ、生徒たちが公然とヤナを脅し始めた。

その結果、ヤナは学校に行かなくなった。

彼女の親族はヤナが身の危険を感じないような教育機関に転校させるよう要求するようになった。



## ●露中関係には第3国からの悪影響は皆無 中国の王外交トップがプーチン大統領との会談で(2023年2月22日)

2月22日、プーチン大統領はモスクワを訪問中の中国の外交トップの王毅氏(中国外事工作委員会弁公室主任)と会談を実施した。会談でプーチン大統領は露中関係は計画通りに発展しており、新たなフロンティアに到達しつつあると評価した。

プーチン大統領は、「露中関係はこれまでの数年に計画したとおり発展していることを指摘したい。全て順次進行し、発展している。私たちは新たなフロンティアに到達しつつある」と述べた。

プーチン大統領はさらに、露中の貿易高は2024年を待たずして2000億ドル(約26兆9500億円)に達すると予測できる根拠があると指摘した。

